学校番号 C2101　桃谷(通)　　令和2年度 芸術(音楽)科

科目名 ：	鑑賞演習	単位数 ： 3 単位	必要ｽｸｰﾘﾝｸﾞ出席回数 ： 12 回
使用教科書 ： なし			
学習書 ・副読本 ： ：大人の音楽史入門 （ＣＤ付） (YAMAHA)			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レ ポ ー ト [R]	9 枚	3 枚	3 枚	3 枚
ス ク ー リ ン グ [S]	24 回	8 回	8 回	8 回
テ ス ト [T]	1 回	○	×	×
その他 （課題・実習等）	3範囲のスクーリング時に、推薦曲の発表を実施します。			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・西洋音楽の歴史とともに、その時代の作曲家の曲を鑑賞していきます。
・3範囲の推薦曲の発表は、テストの代わりとします。
・推薦曲のジャンルは問いません。レポートNo.6をもとにして、発表してください。
・発表時には、音源を各自で準備してください。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	d ：鑑賞の能力
観点の趣旨	声や楽器の音色の特徴との表現上の効果との関わり、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴などに関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取ったり、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解したりして、楽曲や演奏を解釈したりそれらの価値を考えたりし、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	・記述の点検 （レポート） ・鑑賞の様子 （スクーリング）	・鑑賞の様子 （スクーリングプリント） ・定期考査 ・推薦曲の発表 ・記述の点検 （レポート）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	主な評価の観点 d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	古代～古典派の時代の音楽	≪古代～中世～ルネサンス時代≫ ジョスカン・デプレ パレストリーナ ≪バロック時代≫ ヴィヴァルディ ヘンデル バッハ ≪古典派の時代≫ ハイドン モーツァルト ベートーヴェン	○	○	a.鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。 d.声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わり、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者および演奏者による表現の特徴を理解して、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	・レポート ・スクーリングプリント ・定期考査
2範囲	ロマン派の時代の音楽① 自分の推薦曲	≪ロマン派の時代①≫ シューベルト メンデルスゾーン ショパン ヴェルディ チャイコフスキー スメタナ 自分の推薦曲	○	○	a.鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。 d.声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わり、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 d.声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、レポートを作成している。	・スクーリングプリント ・レポート
3範囲	ロマン派②～近・現代の音楽 推薦曲発表	≪ロマン派の時代②≫ ビゼー ≪近・現代の音楽≫ ドビュッシー ラヴェル ストラヴィンスキー プロコフィエフ ガーシュイン 推薦曲の発表	○	○	a.鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。 d.声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わり、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 d.声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、発表している。	・スクーリングプリント ・レポート ・発表

※ 表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度
　　d：鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。